

# 2021年3月期 第2四半期 決算発表説明資料



**E-Loader**

2020年11月12日

エンシュウ株式会社

(東証一部 6218)

## ● 会社紹介

- (1) 会社概要
- (2) 事業紹介
- (3) ビジネスモデル  
(工作機械・レーザー事業部 システム機械)

## I. 連結決算概要

### ● 全社

- (1) 経営成績

## II. 工作機械事業

- (1) 連結 地域別売上高
- (2) 連結 営業利益
- (3) 連結 受注高・受注残高

## III. 輸送機器事業

- (1) 連結 売上高
- (2) 連結 営業利益

## IV. 事業のトピックス

- (1) E-Loader
- (2) JIMTOF2020 Online

## V. 参考資料

- 連結 四半期業績推移

# (1) 会社概要



**本社所在地** 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888番地

**設立** 1920年 2月5日

**代表者** 代表取締役社長 山下 晴央

**資本金** 46億4,085万円

**従業員数** 1,032名（連結）※2020年9月末

**事業内容** ●工作機械及び部品の製造並びに販売

- 二輪車用エンジン・バギー車・雪上車・ゴルフカー  
マリン及び四輪車の部品加工



## ◆ 工作機械関連事業部

メイン



システム機械



マシニングセンタ



レーザー加工機

## ◆ 輸送機器関連事業部



オートバイ・乗用車・商用車  
などに搭載されるエンジン部品加工

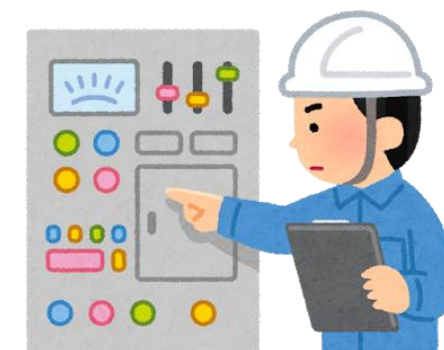
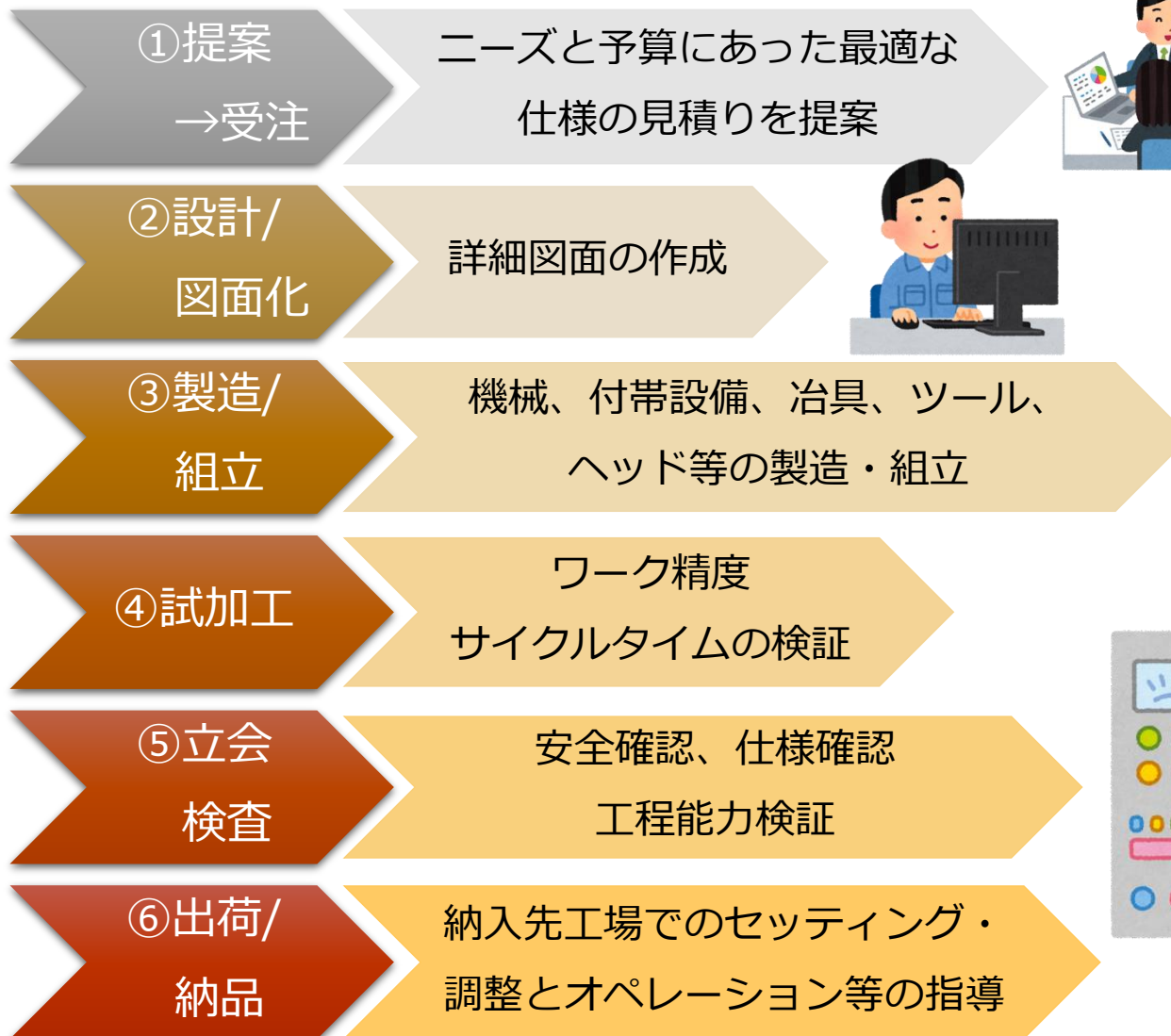


駆動部品加工



## システム機械

エンシュウは  
部品加工部門を持つ  
工作機械メーカーとして  
現場に寄り添った  
生産システムを  
提案します



# I. (1) 連結 全社 経営成績

## ●2020年度通期 従来予想に対して 赤字幅縮小

### 【上期実績】

- ・工作機械の売上ズレ込みがあったものの、部品加工は計画通り推移し、経常利益以下は上振れて着地

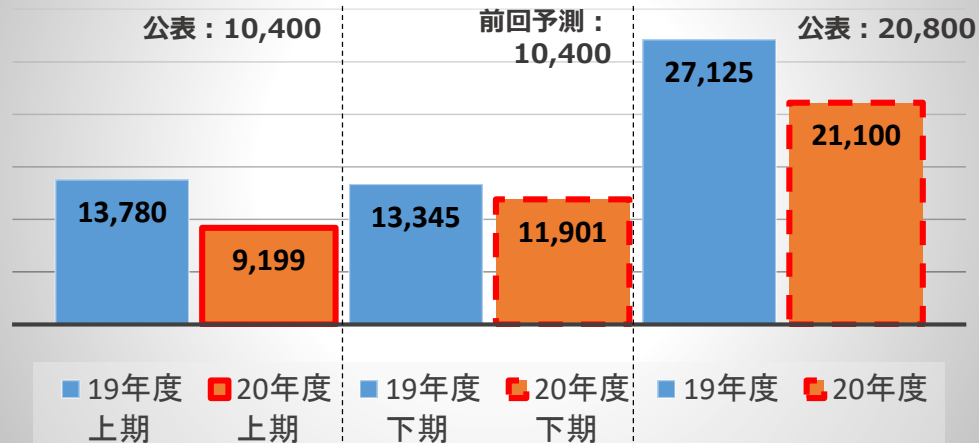
### 【下期予想】

- ・営業利益黒字化を見込む
- ・工作機械は、ズレ込み分を含め計画通りの見込み
- ・部品加工は公表を上回る復調見通し

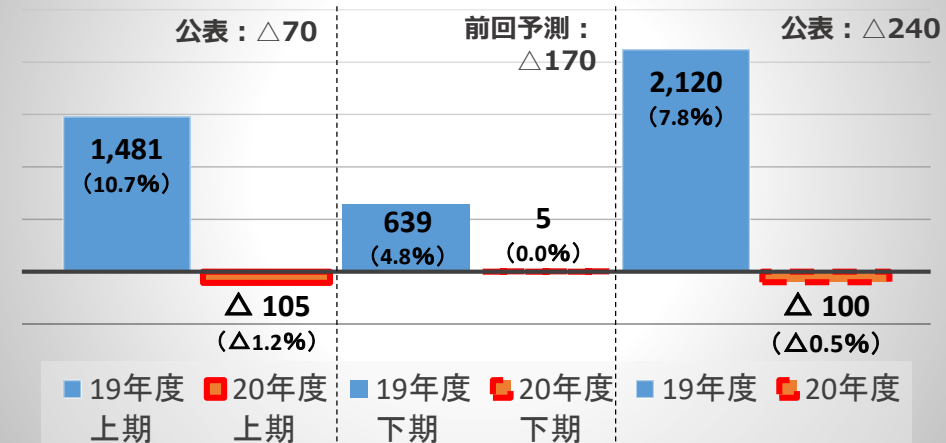
### 【通期予想】

- ・公表に対して増収、大幅に赤字幅を縮小
- ・為替差損減少や、雇用調整助成金の増加を見込む

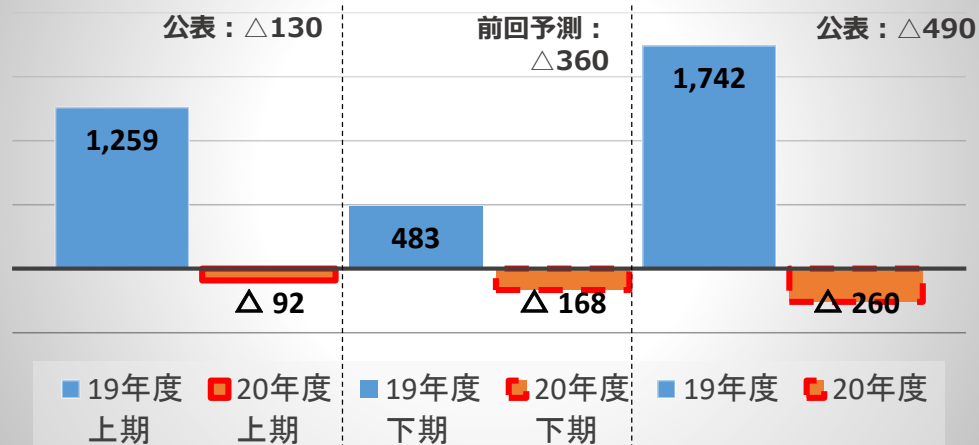
## 売上高



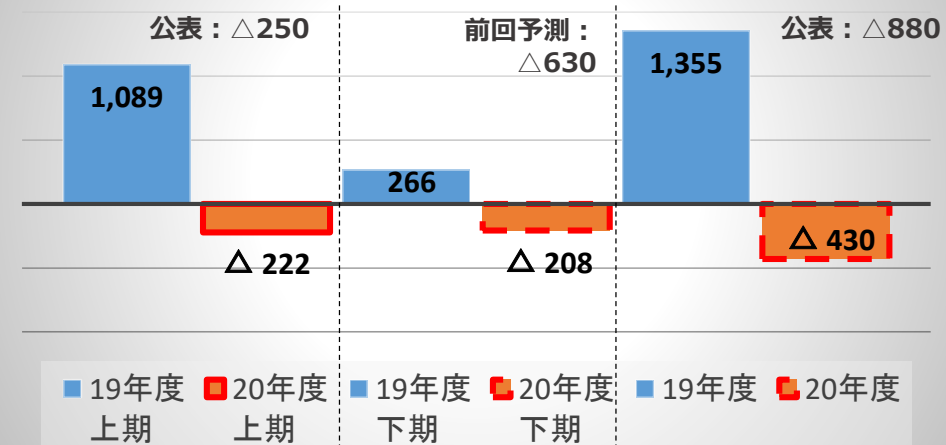
## 営業利益 (営業利益率)



## 経常利益



## 当期純利益



## Ⅱ. (1) 連結 工作機械事業 地域別売上高

### ● 2020年度通期公表に対し 売上は概ね計画通り

#### 【上期実績】

・売上のズレ込みやコロナ禍による営業活動への影響から公表に対し減収

#### 【下期予想】

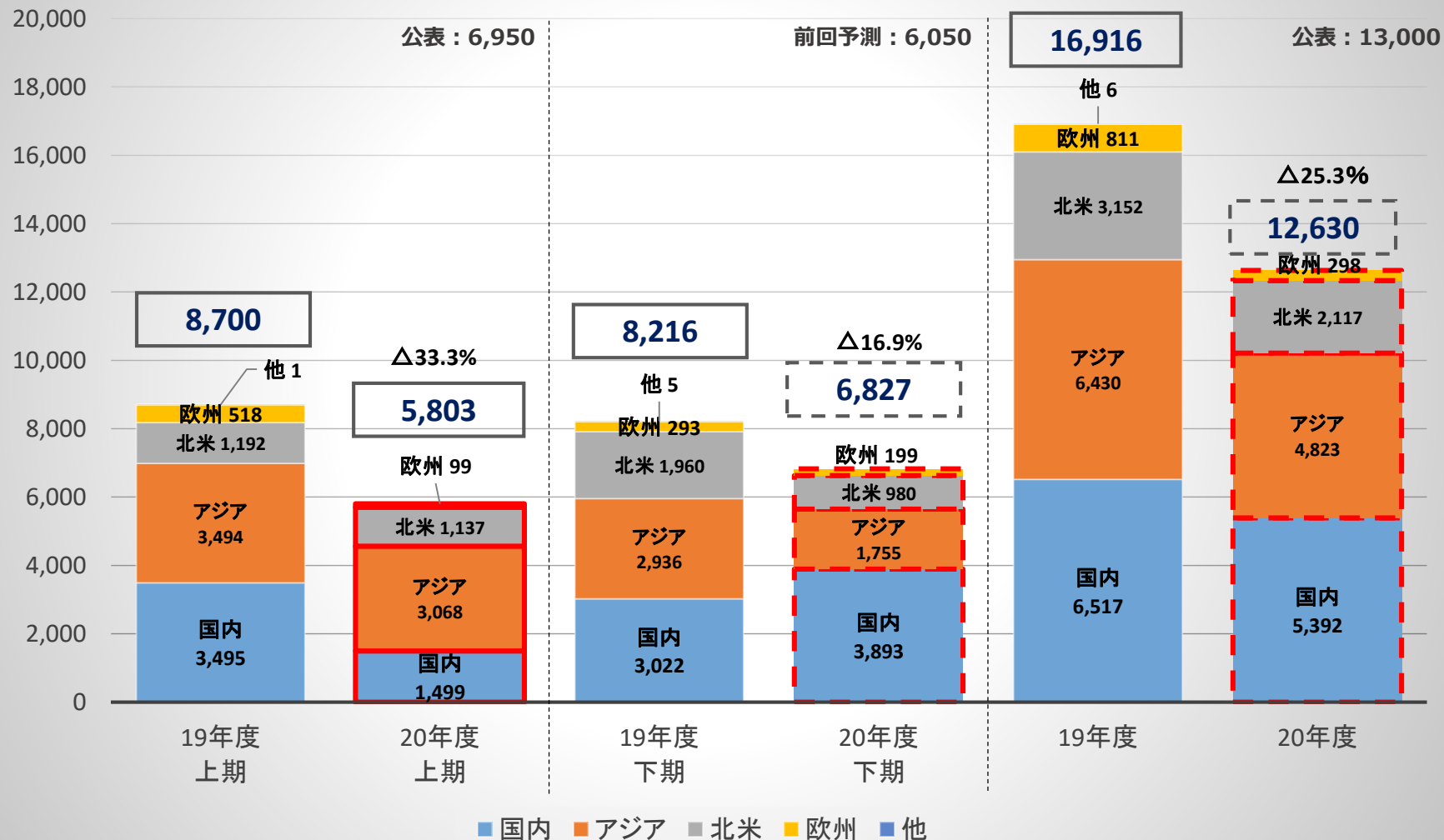
・上期からのズレ込みもあり、前回予測に対して増収見込み

・国内は前年下期を上回る見通し  
・北米において回復が見られるものの、アジア・欧州についてはコロナ禍による厳しい状況が続くと予想

#### 【通期予想】

・公表に対して概ね計画通り  
・コロナ禍により厳しい受注状況が続く中、市場拡大プロジェクトにより新規顧客から引合獲得  
・既存の営業活動で中国を中心に引合が少しずつ戻る中、市場拡大プロジェクトでも受注件数確保を目指す

## 売上高



## Ⅱ. (2) 連結 工作機械事業 営業利益

### ● 2020年度通期黒字見通し

#### 【上期実績】

・売上のズレ込みもあり、公表に対し微減

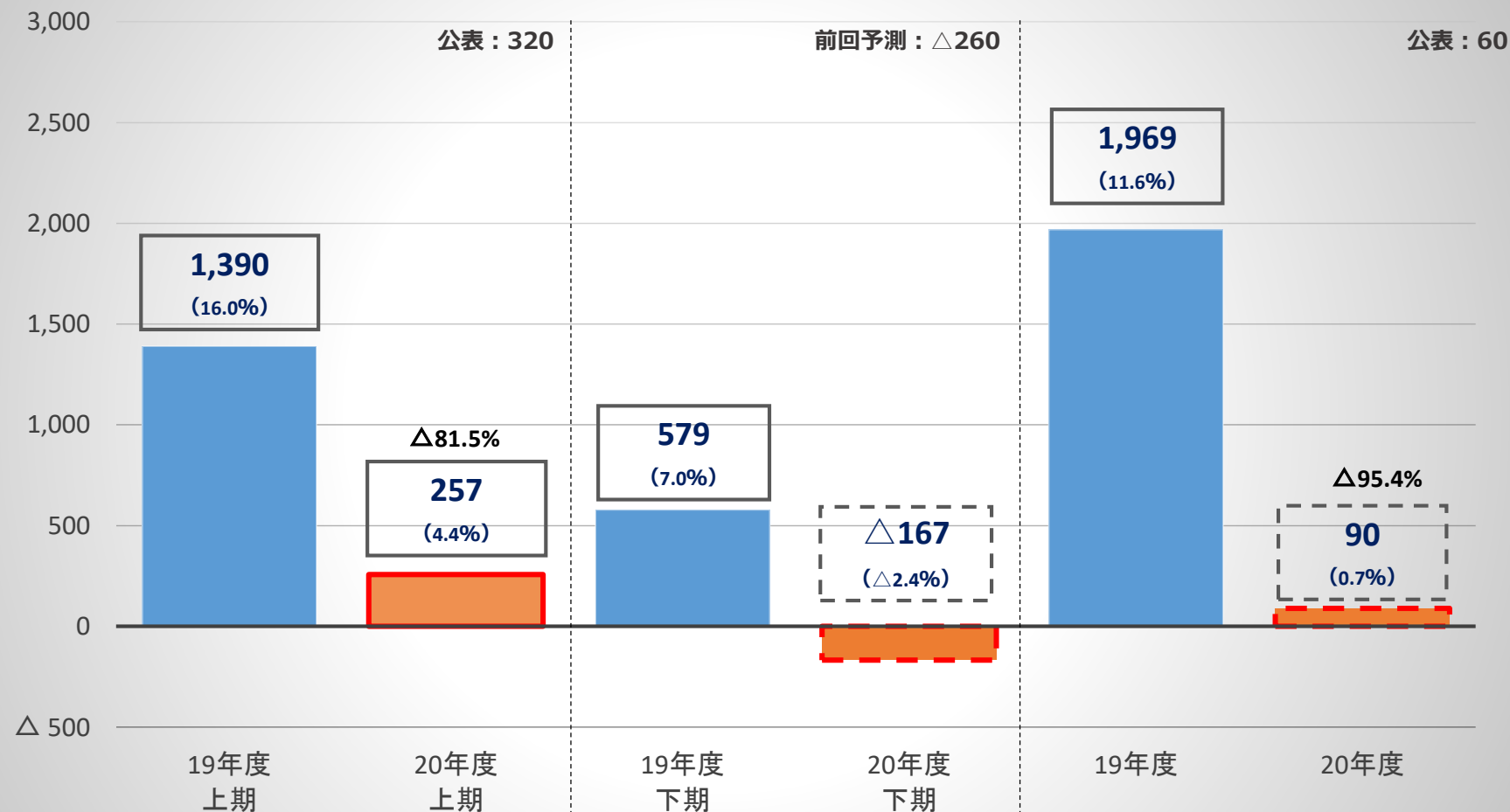
#### 【下期予想】

・上期からのズレ込みに加え、アメリカ現地法人については計画を上回る増益見込みとなり、前回予測より赤字幅縮小

#### 【通期予想】

・計画通り通期黒字見通し  
・予想を上回る現地法人の下期増益により公表に対し通期微増

### 営業利益 (営業利益率)





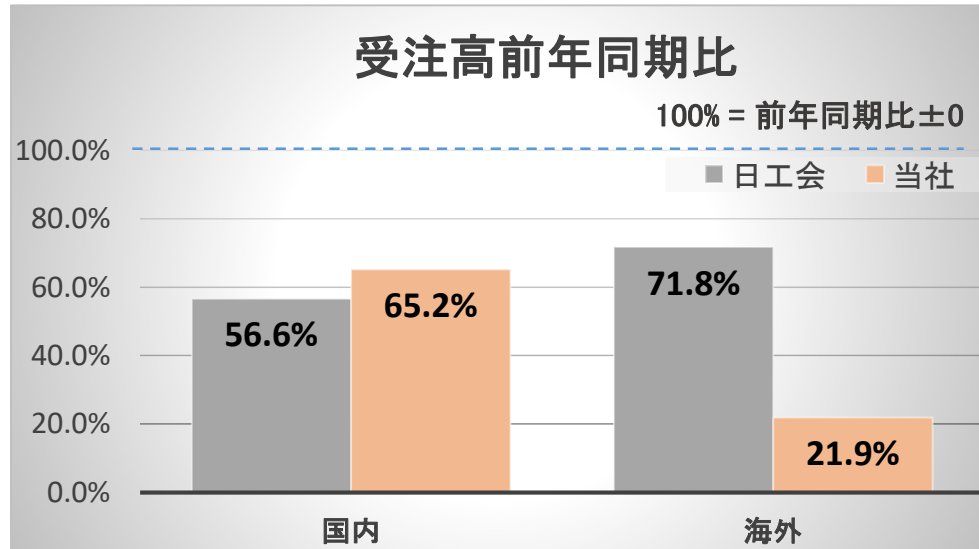
## Ⅱ. (3) 連結 工作機械事業 受注高・受注残高

### ◆ 業界景況

- ・ 2020年度上期の日工会受注は11年ぶりの4000億円割れ（前年同期比65.5%）
- ・ 中国の新車販売は6カ月連続で前年同期比プラスであり回復が続く

### ◆ 当社景況

- ・ 国内受注は業界平均を上回る回復基調、海外受注は中国向けシステム案件等の回復に遅れが発生
- ・ 日工会の9月発表では、中国を中心とするアジア向け受注額が回復しているが、当社は自動車関連システムに特化しているため業界より遅れて回復が見込まれる。省人化に伴う自動化ニーズもあり取り込んでいく
- ・ 搬送装置内蔵マシニングセンタの自動車関連以外への販売を中心として、商社と連携し、『市場拡大プロジェクト』を推進
- ・ 今期受注目標：8,300百万円



### ☆ 日本工作機械工業会受注推移

	19年度 2Q累計	20年度 2Q累計	前年同期比
国内	248,711	140,850	56.6%
海外	356,146	255,589	71.8%
総額	604,857	396,439	65.5%
自動車(国内)	69,544	31,444	45.2%

### ☆ 当社の連結受注高及び連結受注残高推移

	19年度 2Q累計	20年度 2Q累計	前年同期比
国内	2,304	1,503	65.2%
海外	5,435	1,189	21.9%
総額	7,739	2,692	34.8%
受注残高	14,650	8,442	

● 2020年度通期  
公表に対し増収見込み

【上期実績】

- ・公表計画通りに推移
- ・コロナウイルスの影響による客先の減産・稼働調整が大きく影響し前年に比べ減収
- ・仕事量に合わせ5月～7月まで休業を実施、7月以降仕事量が徐々に回復、8月以降は休業無し

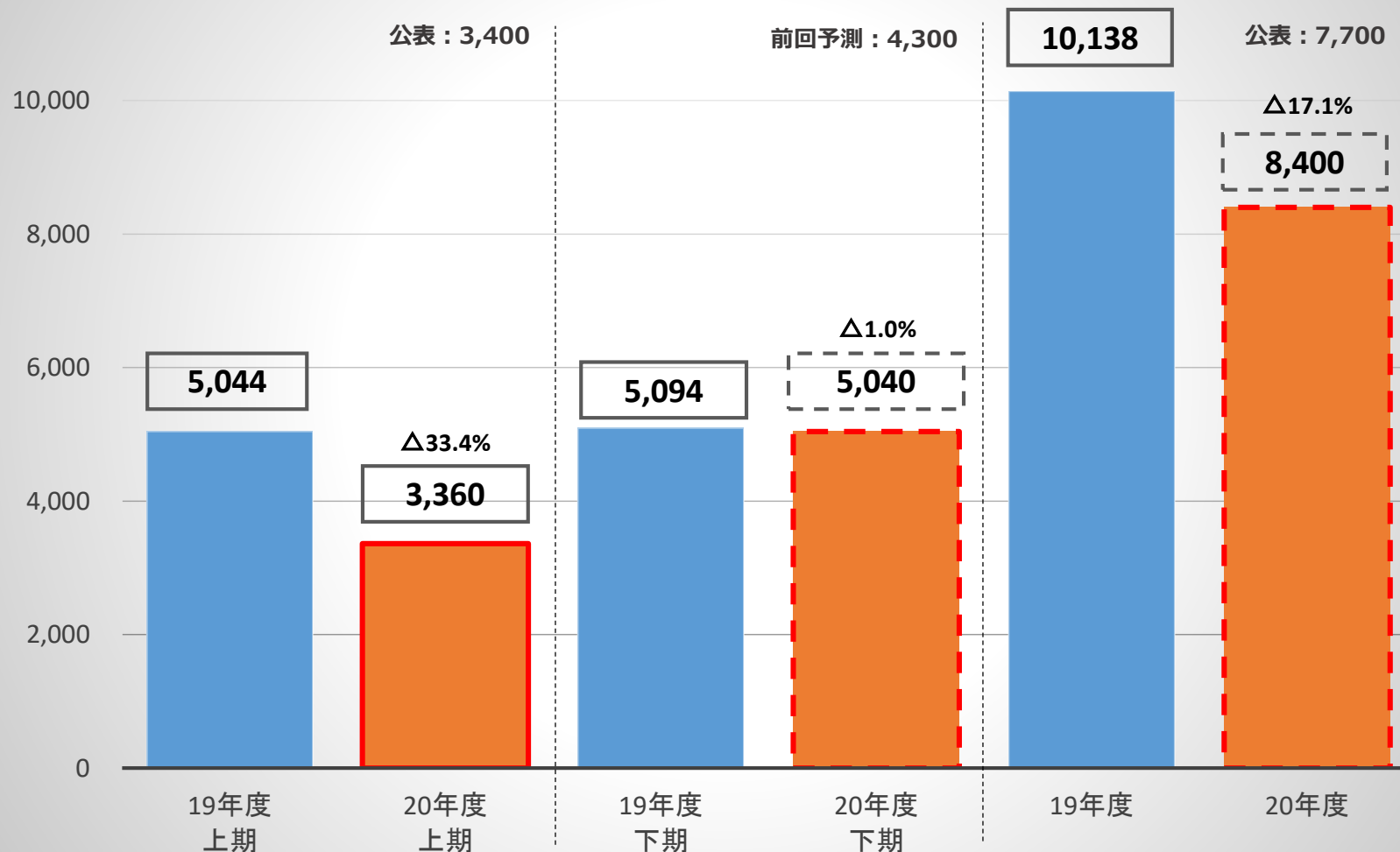
【下期予想】

- ・前回予測に対し増収見込み
- ・下期は復調見通し、前年同期並みまで回復予定

【通期予想】

- ・公表に対して増収見込み
- ・新規顧客からの仕事の取り込みに加え、既存顧客の仕事量が下期に回復する見通し

## 売上高



●2020年度通期  
公表に対して赤字幅が縮小

【上期実績】

- ・公表計画通りに推移
- ・コロナウイルスの影響による客先の減産・稼働調整が大きく影響し前年に比べ減益

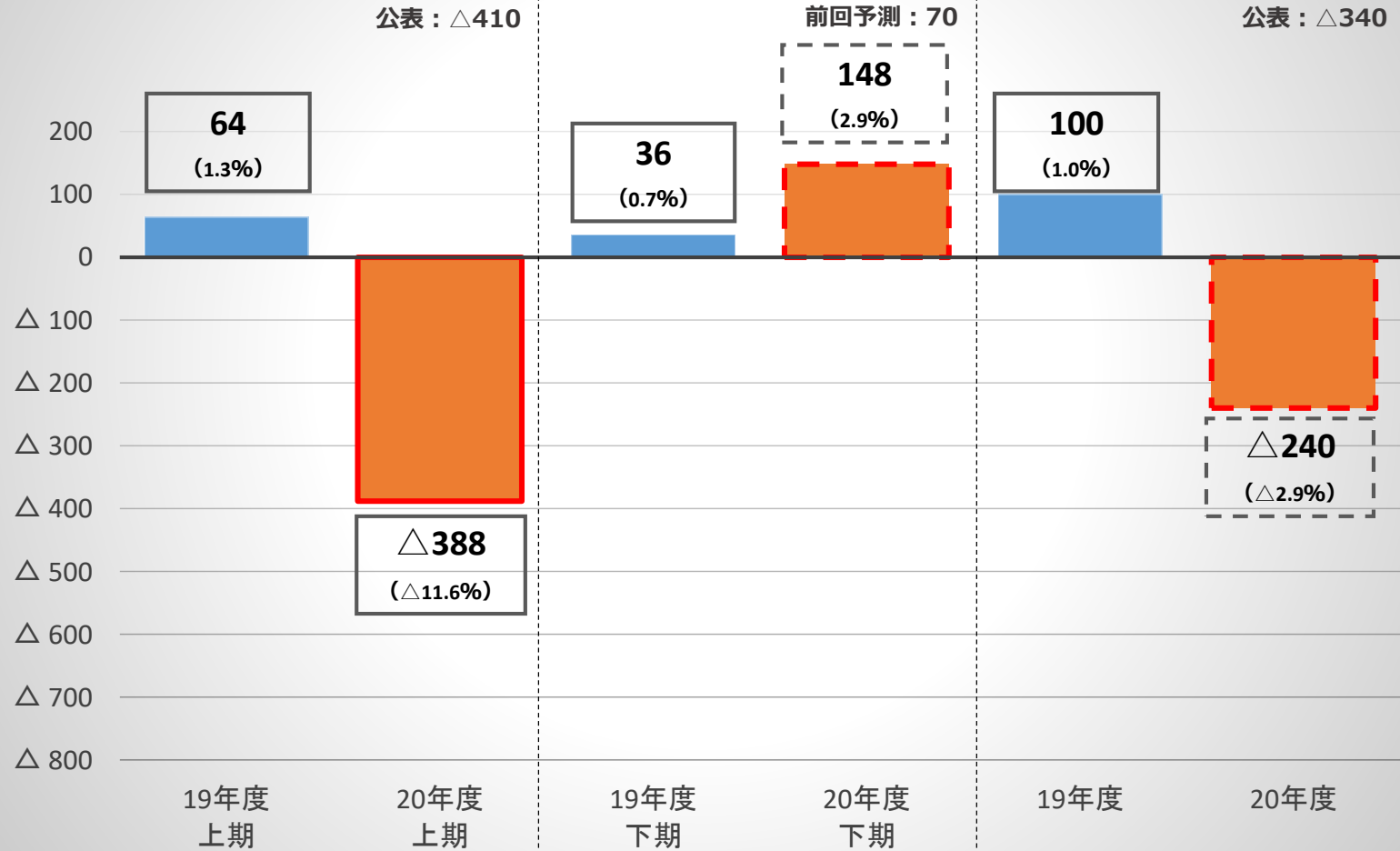
【下期予想】

- ・前回予測に対し増益見込み
- ・前年同期を上回る見通し
- ・新規顧客からの仕事の取り込みに加え、既存顧客の仕事量が回復を見込む

【通期予想】

- ・公表に対して増益の見通し
- ・上期の生産調整が影響し通期損益は赤字の見通しだが、下期復調見通しにより赤字幅縮小

## 営業利益 (営業利益率)



# E-Loader

- ◆省人化に伴う自動化ニーズに応えた製品  
『E-Loader (イーローダー)』を販売

新型コロナにより自動化ニーズが高まる中、  
積極的に販促活動を進めていく



●今後のイベント予定





## JIMTOF2020 Online

開催日：2020年11月16日（月）～27日（金）

URL：<http://jimtof.org/online/jp/index.html>

マシニングセンタ内蔵型搬送装置「E-Loader」と新商品横型50番マシニングセンタを出展しています。その他、工作機械と部品加工の両部門から、エンシュウの得意とする量産加工技術を紹介します。オンライン会場にて皆様のご来場をお待ちしております。

# V. (参考資料) 連結 四半期業績推移

(単位:百万円)

(累計期間)

						セグメント			
		売上高	営業利益	経常利益	純利益	工作機械関連		輸送機器関連	
						売上高	営業利益	売上高	営業利益
2018年3月期 (150期)	第1四半期	4,150	△ 1	△ 34	△ 48	1,596	△ 162	2,536	148
	上期	11,110	444	315	280	6,110	127	4,964	290
	第3四半期	16,163	569	371	320	8,729	112	7,380	418
	通期	23,479	928	674	597	13,671	378	9,737	498
2019年3月期 (151期)	第1四半期	6,755	333	271	216	4,175	150	2,561	170
	上期	13,460	819	653	581	8,150	482	5,274	311
	第3四半期	23,047	1,902	1,661	1,049	15,101	1,445	7,892	418
	通期	30,747	2,599	2,266	1,616	20,357	2,132	10,319	415
2020年3月期 (152期)	第1四半期	6,314	655	577	504	3,828	659	2,467	△ 17
	上期	13,780	1,481	1,259	1,089	8,700	1,390	5,044	64
	第3四半期	20,025	1,844	1,571	1,261	12,349	1,743	7,623	61
	通期	27,125	2,120	1,742	1,355	16,916	1,969	10,138	100
2021年3月期 (153期)	第1四半期	5,126	193	192	84	3,689	373	1,418	△ 192
	上期	9,199	△ 105	△ 92	△ 222	5,803	257	3,360	△ 388



# 繋ぐ技術を、世界へ

2020年2月5日

おかげさまでエンシュウは

創立100周年を迎えました

**ENSHU**  
エンシュウ株式会社

本説明資料に記載いたしました業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。